

小児がん対策国民会議 設立1周年記念シンポジウムのご案内

小児がんの薬剤開発の現状～国民会議の目指すところ

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、小児がん対策国民会議では、設立1周年を記念して「小児がんの薬剤開発の現状 - 国民会議の目指すところ -」をテーマにオンラインシンポジウムを開催する運びとなりました。

小児がんは、小児がかかるさまざまながんの総称です。一般的には15歳未満にみられるがんのことです。日本では年間発症数が2,000人から2,500人、発生率にして15歳未満人口1万人あたり1～1.5人という「希少疾患」です。年間6,000人が入院治療を受けています。

ここ数10年の医療の進歩で血液がんを中心に現在では約7割～8割が治るようになりましたが、固形がんについては欧米に比べ小児がんの新薬開発が進んでいないのが現状です。2018年までに国内で承認された18品目は多くが古い薬剤の適応拡大である一方で、米国で承認された27品目のほとんどが新薬となっていました。

小児がんの新薬開発が進まない理由として、①市場規模が小さく、開発コストや法的義務(安定的供給・安全性監視活動など)の負担が大きい、②第I相臨床試験施設・小児治験に精通した施設、医師、CRCの不足など小児治験を実施する環境が不十分、③医師主導治験で開発しようとしても、公的予算・研究費の確保が困難、④対象患者が少なく被験者の確保も難しいため、臨床試験の実施が困難、などが挙げられます。

欧米でも以前は日本と同様の問題を抱えていましたが、成人と小児の薬を一緒に開発することが義務化されたことや、製薬会社に対する優遇措置(インセンティブ)が導入されたこと、そして、米国では2017年に小児がんの薬剤開発の計画を義務化する法律が成立(2020年施行)したことにより、小児がんの薬剤開発が進み、治療の選択肢が大きく増えており、再びドラッグラグが拡大してきています。これを打開するには、従来の制度の延長線上での検討ではなく、抜本的な制度改革が必要なのではないかと考えています。

本国民会議では、設立1周年を記念し、患者・家族、医師、企業の立場から、小児がんの日本における薬剤開発の現状について発表とパネルディスカッションを行います。

ご多忙の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日時	2022年8月5日(金) 18:00～20:00
場所	オンライン (zoom 開催)
主催	小児がん対策国民会議
共催	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院、特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ、認定特定非営利活動法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、小児がん患者会ネットワーク、公益財団法人がんの子どもを守る会
後援	認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ/がん対策総合機構、認定特定非営利活動法人がんネットジャパン
テーマ	小児がんの薬剤開発の現状 - 国民会議の目指すところ -
プログラム	別添をご参照ください
お申し込み方法	<p>下記リンクのお申し込みフォームにアクセスして頂き、必要情報をご入力ください。お申し込み完了後、開催日1週間前から順次、事務局より当日のアクセス情報を送付いたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お申し込み URL : https://forms.gle/JJVRpcZkDtEDMGdL8 <p style="text-align: right;">QRコードはこちら→</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お申し込み期限:8月1日(月)15:00迄



プログラム

18:00	開会 司会： 富澤大輔 小児がん対策国民会議 薬剤開発促進ワーキンググループ/国立成育医療研究センター 小児がんセンター 血液腫瘍科 診療部長
18:00-18:05	挨拶 井上富美子 小児がん対策国民会議 共同代表 /認定特定非営利活動法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ 名誉理事長
18:05-18:25	講演： 日本における小児がんの薬剤開発の現状および海外での政策的取り組み 小川千登世 小児がん対策国民会議 薬剤開発促進ワーキンググループ座長 /国立がん研究センター中央病院小児腫瘍科 科長 /特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ 理事 /日本小児血液・がん学会 理事
18:25 -18:45	講演： 旅立った子どもが苦しんだこと ～手が届かない海外で開発された薬～ 鈴木隆行 小児がん対策国民会議 薬剤開発促進ワーキンググループ /患者家族
18:45-19:05	講演： 小児がんのための薬剤開発 患者家族の立場から願うこと 浦尻みゆき 小児がん対策国民会議 薬剤開発促進ワーキンググループ /神経芽腫の会 共同代表
19:05-19:25	講演： 薬剤開発促進のハードルとその対応 早川 穰 小児がん対策国民会議 運営委員 /大原薬品工業株式会社 取締役 研究開発本部長
19:25	パネルディスカッション 『小児がん薬剤をいち早く患児に届けるためには？』 モデレーター： 大井賢一 小児がん対策国民会議 アドバイザー /認定特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー 事務局長 パネリスト : 小川千登世、鈴木隆行、浦尻みゆき、早川 穰
19:55	挨拶 足立壮一 小児がん対策国民会議 共同代表/特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ 理事長/京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授
20:00	閉会

【お問い合わせ】

小児がん対策国民会議 事務局 N3C.nccc@gmail.com